

国際理解教育プログラム〔対象学年：小学校3・4年生〕

新発見！「八王子王国」とその姉妹国

1. 指導のねらい

- 人口約56万人の八王子市を一つの国と見立てて、それに近い100万人以下の人口規模の国を姉妹国と考えて比較することで、八王子市民としてのアイデンティティを確立する。
- ポスターの作成をグループワークで行い、協調性を身につける。
- 担当した国の魅力を発表する活動を通して、プレゼンテーションの力を身につける。

2. 学習指導要領との関連

- ・ 小学校 総合的な学習の時間 第3-1-(5)
- ・ 小学校 総合的な学習の時間 第3-2-(7)
- ・ 小学校 社会 第3・4学年 第2-2-(6)ーエ

3. キーワード

国旗、歴史、文化、観光、面積、人口、食べ物、習慣、日本との関係

<対象国> ※ ()内は人口を表す。

【日本】	八王子王国 (56万人)	
【アジア】	ブータン王国 (74万人)	ブルネイ (40万人)
【北米・中南米】	ベリーズ (32万人)	
【欧州】	アイスランド共和国 (32万人)	
【大洋州】	キリバス共和国 (10万人)	ソロモン諸島 (55万人)
【アフリカ】	ギニア共和国 (72万人)	ジブチ共和国 (90万人)

4. 資料活用のポイント

愛知県国際交流協会HPより「わたしたちの地球と未来」

- 国の紹介、日本との関係、国としての課題、今後のビジョンなどバランスよく掲載されていて一冊で全てがカバーされている。クイズも含まれており、発表のときに有効である。
- インターネットで無料ダウンロードできる。

◇活用したいデータソース◇

- ・ 愛知県国際交流協会HPより「わたしたちの地球と未来」
アドレス <http://www2.aia.pref.aichi.jp/topj/indexj.html>
- ・ 八王子市教育委員会「わたしたちのまち 八王子市・東京都」
- ・ ダイヤモンド社「地球の歩き方」

授業の進め方

【1次】「写真から分かることを話し合おう」

- ① 5人前後のグループをつくる。
- ② 対象国の中から各グループ一国ずつ、フォトランゲージの写真（1セット4～5枚）を選ぶ。
- ③ グループで選んだ国の写真から読み取れること、日本と似ているところや違うところについて話し合う。
- ④ 選んだ国の名前もしくは地域を考える。

【2次】「それぞれの国を紹介するポスターを作ろう」

- ① 「わたしたちの地球と未来」を参考にグループで選んだ国のポスターを作成する。
（テーマ）国旗、歴史、文化、観光、面積、人口、食べ物、習慣、日本との関係など
- ② 八王子王国担当のグループは、八王子市の資料をもとに調べる。
（テーマ）高尾山、絹の道、織物、いちょう並木、八王子まつり、千人同心など
- ③ 発表で出題するクイズもポスターに入れる。

【3次】「それぞれの国の魅力を発表しよう」

- ① ポスターを使ってグループ毎に発表する。
- ② クイズを出題する。
- ③ 質疑応答をする。
- ④ もし自分が住むとしたらどの国が良いか、理由とともに考え、意見を交換する。

<ポイント>

- ・ 八王子市を一つの国と考えることで、他の国との比較がイメージしやすくなり、八王子市民としてのアイデンティティの確立につながる。
- ・ 取りあげる対象国は、八王子市と人口規模は近くても面積が全く違うことを学ぶ。
- ・ 人口100万人以下の小国の情報は、普段日本に入ってくるのが少ないが、八王子市と同じ規模の国という親近感を持つことにより、身近に感じることができる。
- ・ 八王子王国のポスターを作るグループは、単に市としての紹介ではなく国として紹介することで、これまでになかった視点で八王子を考えることができる。
- ・ 愛知県国際交流協会「わたしたちの地球と未来」は、国の説明や日本との関係、文化、習慣、伝統にいたるまで幅広くカバーしている。